



# 県立病院ニュース

病院に関係する全ての人から信頼される病院を目指して

第140号 平成27年11月 病院局発行

## 中央病院内視鏡センター竣工式 ～上越地域初PET-CT 検査開始しました～

9月6日（日）、県立中央病院で内視鏡センターとPET-CT室の竣工式が行われました。竣工式では若月病院局長から「内視鏡検査ブースを2ブースから5ブースに拡充するとともに、地域がん診療連携拠点病院である県立中央病院に、上越地域で初めてとなるPET-CTを併せて整備し、診療機能の強化を図った。今後も医療サービスの充実に努め、上越地域の基幹病院として信頼される病院にしたい。」と挨拶がありました。矢澤院長からは「これまでPET-CTは新潟市や長野市に行って受けるしかなかったが、上越地域でできるようになる。」と期待感が述べられました。

PET-CTは予定どおり10月26日（月）から検査を開始したところです。県立病院では平成22年からがんセンターで運用しており、また、今年度中には新発田病院でも運用を開始する予定であり、県内におけるがんの検査体制が強化されることとなります。



【写真】（左から）若月病院局長、矢澤病院長、新潟大学医歯学総合研究科 寺井教授、新潟大学医歯学総合病院 菊地教授、上越医師会 服部会長

### 県内のPET-CT運用状況

県内では今年度新たに4病院で運用を開始（予定を含む）し、全5病院（県立3病院）、4圏域（新潟・下越・中越・上越圏域）で検査を受けることが可能となります。

- H22年 県立がんセンター新潟病院
- H27年7月 長岡赤十字病院  
新潟大学医歯学総合病院
- 10月 県立中央病院
- H27年度中（予定） 県立新発田病院

# 今年も教育担当トレーナーが誕生しました！！

県立病院では教育担当トレーナーの育成を行っており、今年度も10月6日(火)・20日(火)の2日に渡るハードな研修を経て、11名のトレーナーが誕生しました。

教育担当トレーナーは、研修やイベントの企画運営に必要な実践理論を学び、現場で効果的に研修等を運営する役割を担っており、多職種のトレーナーを集めた人材育成研修会を企画・実施するなどの様々な活動を各病院で実施しています。教育担当トレーナーが十分その力を発揮できるように病院全体でトレーナー活動へのご協力をお願いします。



## ファシリテーターからのメッセージ がんセンター 主任放射線技師 殿内さん



今回、ファシリテーターとして参加・出席させて頂きましたが、はっきり言いまして「出番なし」でした。講師を務められました皆さんの講義内容、手法、進行はどれも素晴らしいものでしたし、勉強になりました。又、皆さんのスキルや姿勢に感化され、良い刺激を頂きました。大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

## 受講生からのメッセージ 津川病院 主任看護師 青山さん



Ⅱ部研修の講師体験で最後に参加者と円陣を組み、リーダーシップ像を笑顔と共に声高らかに宣言した瞬間、準備に費やした苦勞が吹っ飛び、達成感が芽生えました。そして答えを導くだけでなく笑顔も導く事もトレーナーの役割と実感する事ができました。今後は継続的な自己育成と共に安全、安心な医療を提供できる人材育成に貢献したいと思います。

研修終了者(計11名) ※修了者名は写真左上から時計回りに掲載

五十嵐 聡子さん(新発田)・青木 聡美さん(中央)・古川 ゆかりさん(妙高)・青山 岳史(津川)  
児玉 信夫さん(魚沼基幹)・山田 宜知さん(病院局)・伊藤 和美さん(新発田)・諏訪 綾子さん(吉田)  
山澤 真紀子さん(加茂)・鈴木 明子さん(坂町)・近藤 明子さん(坂町)

# 第54回全国自治体病院学会 in 函館

～地域を支える自治体病院超高齢化社会に向けて住民と共に歩む～

10月8・9日の両日、北海道函館市において、全国の自治体病院から約3,600名が参加して「地域を支える自治体病院～超高齢化社会に向けて住民と共に歩む～」をメインテーマに第54回全国自治体病院学会が開催されました。学会では総会シンポジウムや特別講演の他、看護やリハビリ、地域医療など10の分科会にわかれてポスターセッションが行われました。ポスターセッションの総演題数は約1500題であり、他職種の方が集まり活気にあふれる学会でした。県立病院からも5題発表しました。

また、柿崎病院の木賀主任理学療法士が昨年度発表した「COPDに対する運動療法―当院における6年間の取り組み―」は最優秀演題のひとつに選ばれ、総会において表彰されました。

木賀さん、おめでとうございます！  
第53回全国自治体学会（宮城）  
最優秀演題発表者



[写真] 木賀主任理学療法士（一番左）

※表彰式の写真は藤森院長が撮影してくださったもので、とても心強かったとコメントを頂きました！

## 全国で評価された柿崎病院の取り組み 柿崎病院 主任理学療法士 木賀 洋

2014年10月下旬に宮城県で開催された第53回全国自治体病院学会で発表した「COPDに対する運動療法―当院における6年間の取り組み―」がリハビリテーション分科会の中で「優秀賞」に選ばれた時は、今でも鮮明に覚えています。いつもの冬とは違い、シーズン初めからたくさん雪が降り、まだ12月なのに除雪疲れがすでにあつた頃でした。そんな時に嬉しい知らせをもらい、疲れがどこかに飛んでいきました。発表という瞬間的なものから、原稿が全国自治体病院協議会雑誌に掲載された時は、少しでも仕事ができるようになったという感覚よりも感謝の気持ちの方が多かったことも覚えています。その後、「最優秀賞」の連絡を受けた時は、本当に嬉しく、仕事を確実にやり終えて安心したことを昨日のこのように感じます。

最優秀賞に選ばれたのは、地域医療の最前線で牽引されている先生方の頑張り、柿崎病院スタッフ全員の努力とチームワークが評価された結果とっております。また、そこに少しでも関わられたことは、とても幸せなことと思っております。



表彰当日の発表は6分間という短い時間でしたが、とても貴重な時間であり、もっと勉強したいと感じました。この気持ちだけは忘れないようにしたいと思います。最後になりますが、貴重なお時間を頂き、繰り返し、繰り返し発表練習、原稿添削などご指導下さいました藤森先生に深く、深く感謝申し上げます。

[写真] (左から) 藤巻理学療法士、木賀主任理学療法士  
藤森院長

# 各ポスターセッションについて

※演題名及びお名前、順番は学会事務局プログラム集をもとに掲載しました。(敬称略)  
※下線、発表者

## 看護・看護教育分科会



### 災害看護におけるシミュレーションの効果

#### —急性期病棟における取り組み—

五十嵐 久枝、山口 祥子、永高 朋子（がんセンター）

## リハビリテーション分科会



### COPDにおいて6分間歩行試験中の酸素飽和度低下の検討

木賀 洋、藤森 勝也、眞水 飛翔、新保 憲孝、植木 康之

藤巻 涼司、和田 恵美子、相澤 由美子、松浦 久美子（柿崎）

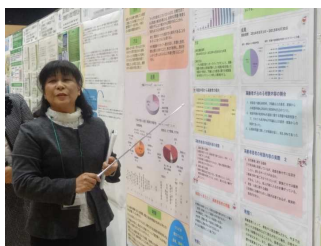
## 地域医療・連携・福祉分科会



### 当院の退院前カンファレンスによる在宅調整と今後の課題

#### ～退院後の調査より～

露崎 かおり、安藤 とよ子（坂町）



### がん相談支援センターにおける高齢者相談の現状と課題

長岡 敦子、松澤 千恵子、猪股 明美、神保 圭子

藤岡 比佐子（がんセンター）

## 経営・管理分科会



### 県民から「信頼される病院」の実現に向けた

#### 住民ニーズ調査の取組

阿部 祐輔、水橋 奈美、若井 麗子、南雲 正裕、小野 敏則

三林 康弘、吉嶺 文俊、下條 文武、荒川 正昭（病院局）

「信頼される病院づくり」にかかる取組をお知らせください！

皆様からの「こんなことやっているよ」という情報提供や投稿を心からお待ちしています！

病院局業務課改革室

E-mail: [ngt400020@pref.niigata.lg.jp](mailto:ngt400020@pref.niigata.lg.jp)

